



①



②



③

① スラリと並ぶ店内の剣道防具
② 全国の剣道愛好家が注目する「武昭」の甲手
③ 一つひとつの武道具を丁寧に仕上げる博多屋さん親子



HPIはこちら

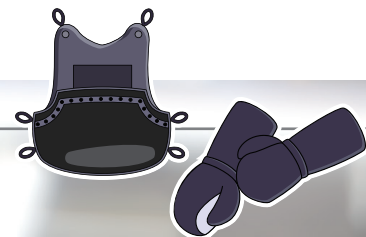
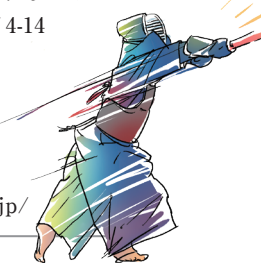


Instagramはこちら

Information



有限会社 博多屋武道具店
〒850-0877 長崎市築町 4-14
☎ 095-826-0548
FAX 095-826-5236
🕒 10:00~18:00
📅 休 火曜日、第3日曜日
🌐 <https://takeakigo.jp/>



有限会社 博多屋武道具店
代表取締役 博多屋 正臣 さん



名工の技術と伝統をつなぐ、長崎発の武道具店

今回のがんばってますは、築町の中央橋バス停沿いに店舗を構え、剣道防具を中心に製造、卸売、販売を行なう有限会社 博多屋武道具店の博多屋 正臣さんをご紹介します。

親子二代で継承、武具師の道へ

昭和42年創業、長崎市八景町で剣道用品の製造販売を事業に始まった博多屋武道具店。創業者である父・敏昭さんは、国内の剣道防具製造業界初の「現代の名工」、「黄綬褒章」を受章するなど日本でも有数の武具師。そんな卓越した技術を持つ父の背中を見て弟子入りし、家業を継ぐため平成9年に入社した博多屋さん。

「この業界に入って初めて、父の技術の高さを実感しました。武具師としての伝統技術や精神を受け継ぐため父のもとで修行を積み、全ての工程を習得するまで5年ほどかかりました」と当時の苦勞を語る。

武道具の製造をはじめ営業、販売とひた向きに仕事に奮闘した時代を経て平成26年に二代目として代表取締役に就任した。

耐久性に優れた手づくり武道具

同店は、剣道防具をはじめ柔道や空手など武道具全般の商品を取り扱っている。その中でも最も得意としているのが、職人が一つひとつ手づくり（手刺し）で作るオーダーメイドの剣道防具だという。「使いやすさを一番に心がけて、一針一針

経年変化を楽しめるのもブランド防具の魅力の一つだという。

伝 統技術を守り、長崎から全国、世界へ

今後は、県内外での知名度を広めたいと話す博多屋さん。昨年5月には「全日本剣道演武大会」にて甲手の製作実演会を行なうなど、同店の伝統技術を全国に広めるため精力的に活動している。

「長崎の武道具屋さん」として、当店についてもっと色んな人に知ってもらいたいですね。ホームページには過去に製作したご注文品を掲載していますし、昨年はInstagramも始めて製作過程などを更新しています。近頃はインバウンドの影響で外国人のお客様も来店いただくことがあります。世界中の武道具ファンにも届けられるようSNSでの情報発信にも力を入れていきたいです」

注文から製作、納品まで一年以上を費やすこともあるという武道具業界。「ご注文をいただいたお客様には感謝しかありません。高品質な武道具を提供し、お客様

熟練の技術で真心こめて縫いあげています。近年はミシン刺しも普及していますが、手刺しならではの強弱をつける刺し方は、機械では再現が難しく、布団（基本となる生地）の厚みや柔らかさをより引き立てます。当店は上質さと堅牢性を兼ね備えたお客様に長く使っていただける剣道防具を提供しています」

全 国の剣道家が愛用「武昭」ブランド

「竹刀を構えた時に手首の曲げが自然になるよう使いやすさやフィット感にこだわっています。剣道家の皆様の意見を取り入れ、研究を重ねて辿り着いた自慢の逸品です」甲手頭に使う革は鹿革の上質な部分のみ使用し、また手の内の革もしなやかで丈夫なものを職人の目利きにより厳選している。藍染生地には糸から染める先染め生地を用いており、色落ちが少なく使いこむほどに品格のある味わい深い色に変わっていく。